

国外学習履歴者の入試審査

長岡大学の留学生入試の事例

長岡大学 留学生室 佐藤 清

長岡大学の概要 =留学生受入関係=

- 2001年、短大を改組した私立の単科大学
経済経営学部〔定員：80名〕
 - 講義； 日本語
〔留学生向科目；日本語、日本事情〕
- 日本語別科開設なし・研究生受入制度なし
- 4月入学〔秋入学制度なし〕
- 大学院；開設なし
- 系列校；中越高等学校
〔留学生受入れ；スポーツ特待生・・・不定期〕

長岡大学の留学生募集〔入試〕方針

1. 海外現地入試の実施 > 日本国内入試

☆入試時点から個別指導を開始

(→フォロー・アップ教育・マン・ツーマン指導)

2. 提携(協定)校の推薦 > 一般応募出願

※相手校の教職員への大学説明会を実施

3. 編入学(2年次・3年次)受入れ > 1年次

留学生入試実施について

- 留学生入試：海外会場と日本国内会場（本学）
- 入試会場は主に提携校
- 考査：筆記（200点）と個別面接（100点）により合否
 - 筆記（90分）・・・日本語能力を問う
日本語能力試験と同様の出題形式
出題レベル；N3（25%）・N2（50%）・N1（25%）
長文解釈、作文（テーマ）
 - 個別面接（日本語；15分）・・・留学目的・学修歴の確認

---入試実施に併せて---

◎留学説明会（大学案内）実施 →次年度の応募

海外からの出願状況

☆地域社会や産業が関係する国、地域の教育機関
との提携(協定)関係を持ち、留学生の推薦を仰ぐ



海外入試会場

- ・中国・・・北京、西安、蘇州、黒竜江省(チャムス)
- ・モンゴル・・・ウランバートル
- ・ベトナム・・・ダナン、フエ、ホーチミン

学修履歴審査の実情

- ▲学修歴(卒業・修了証明)が不明の場合、
入学年齢・資格要件の未達を通知〔→提携校〕
 - 希望する編入学年の資格要件を満たすまで
待機(準備)を促す
 - 一旦、合格しても資格要件、提出書類の
不備が発覚した場合には取り消し通知
- ▲飛び級の認定(証明)書を提出し難い

ベトナム出身者の実状

☆日本語学習・日本留学ブーム

▲日本留学(日本語修得)の情報不足▲

- 外国語大学[4年制]出身者
 《大学側も日本の大学への留学を奨励》

3年次在籍で受験 → 1年次・2年次・3年次編入学合格

↓ ↓

※1年次からの入学を検討

◎専門[経済・経営]を日本語で学ぶ難しさに直面◎

モンゴル出身者の事情

☆小学校～高校時代に日本を交流(友好)訪問
経験者が日本語を学び大学留学を志す

★教育制度の整備の途上であり、日本の大学の入試
審査のポイントが留学情報として伝わっていない
12年に満たない初・中等教育歴

◎志願者の二極化

- ・10代後半[大学1, 2年在籍]・・・1年入学(→大学院)
- ・30代[大学卒業(実務歴)]・・・3年次編入(→就職)

中国出身者(出願)の事例

◎3年制職業学院出身者の編入学の認定について

- ・在籍途中[1年半 or 2年]で日本語学校(国内)へ留学



☆ 日本留学(日本語学校)で在籍補完(出身校+日本語学校)



☆ 出身校での卒業認定

3年次編入学を志願 [資格ありと主張]

★ 本学の判断・・・日本語学校;2年卒の場合

《専修学校“専門士”》

→ 3年次編入学資格;有

中国出身者(出願)の事情

- 日本在留者(永住・定住ビザ)が家族呼寄せ
 - 初等教育の途中で渡日して
日本の高校を卒業
 - 中国の高校を卒業後に渡日
- 技能研修生の大学進学希望者の増加
 - ★留学ビザの交付を得られない者が多い

入試審査の課題と対応

現状〔課題〕

- ・出身校の成績を合否判定に材料しない
- ・日本語能力を重視した合否判定
- ・学修歴のチェックは提携校(推薦元)に依存
- ・入試(入学)審査後の入国審査の壁

対応策

- ・成績表は入学後のフォロー・アップ指導の参考資料
- ・近隣他大学の審査方法の取り入れ(情報交換)
- ・海外の拠点地域でのリエゾン・オフィス開設(現地審査)